

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253

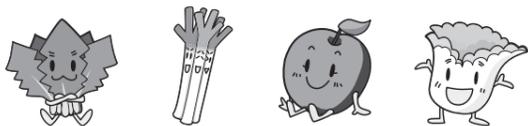


平成25年度白石産「新米」取り扱い中！

「馬牛沼産直センター」「羽山朝採り市」「小十郎の郷」の3カ所で、白石産の新米を取り扱っています。詳しくは、各直売所にお問い合わせください。

●11月の人気農産物

大根、ネギ、白菜、ホウレンソウ、リンゴ、柿など



1. 青葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を好評開催中！各店とも月初めの販売日に開催しています。お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービスします。
※11月9日(土)は農業祭出店のため臨時休業

●販売日時・場所

- ①ポーチパーク内 毎週水・土曜日 9:00～12:00
 - ②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 毎週水曜日 9:00～12:00
 - ③いきいきプラザ 毎週土曜日 9:00～12:00
- ※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。
☎大槻 久江 ☎25-8572

2. 羽山朝採り市

- 販売日時 毎週土曜日 9:00～12:00
 - 場所 大卒都婆公会堂前
 - 「羽山祭」開催！
- 11月4日(祝)10時から、白川地区の秋の収穫祭「羽山祭」を開催します！ぜひお越しください。
☎小畑 胖 ☎27-2236

3. 百姓市場

- 販売日時 毎週火・日曜日 10:00～13:00
 - 場所 ポーチパーク内
- ☎佐久間義昭 ☎25-6836

4. 小原いきいき直売所 11月末まで毎日営業！

- 11月10日(日)に「第11回秋の検断屋敷まつり」を開催します(詳細は39ページに掲載)。
- 販売時間 10:00～15:00
 - 場所 小原材木岩公園内
- ☎小原いきいき直売所 ☎29-2760

5. 小十郎の郷 毎日営業！

11月9日(土)、10日(日)11時30分から「小十郎の郷収穫祭もちつき大会」を開催。新米のつきたてお餅やおにぎりを振る舞います(なくなり次第終了)。
●販売時間 9:00～18:00
●場所 旧白石市地方卸売市場(福岡袋袋字八斗蒔地内)
☎小十郎の郷 ☎22-0881 http://www.kojuro-sato.com



6. 軽トラ市

- 販売日時 毎週金曜日 9:00～12:00
 - 場所 すまいるひろば
- ☎四竈 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

7. 馬牛沼産直センター



▲10月12日には「斎川米新米まつり(収穫祭)」を開催。多くの人たちでにぎわいました。
●販売日時 毎週火・木・土・日曜日 9:00～17:00(定休日：毎週月・水・金曜日)
●場所 国道4号沿い馬牛沼付近
☎馬牛沼産直センター ☎25-0520 bagyunuma@yahoo.co.jp



8. パーバ工愛市(クラブいち)

新鮮野菜のほか、加工品、漬物を多数取り揃えています。
①JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内
※お惣菜の販売を始めます。
●販売日時 毎週水曜日 9:00～12:00
②JAみやぎ仙南福岡支店構内(アグリハウス)
11月9日(土)は農業祭出店のため臨時休業
●販売日時 毎週土曜日 9:00～12:00
☎JAみやぎ仙南女性部白石地区パーバ工愛市 ☎25-3531

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

お隣もそのお隣も帰省せし人でにぎわい焼き肉ひかる鳥よけテープをとり抜けウスバキトンボ垂穂をめぐる 別当内信夫
指を立つてれば止まった秋あかね遠い夢の日孫らに語る 後藤 淑子
地に低く今年も咲きし玉すだれその白き花秋風に揺る 佐藤喜和子
早朝に草引く習いもこの暑さ今年はずいに除阿部はぎの
陽のほい梅雨明けならんけふあたり東雲草も咲き初めたり 寺崎 悦子
生育はほほ順調と農夫言う稲穂手にのせたりかめながら 佐藤 啓子
その昔亡夫が好みたりし江差追分テレビに映り徳びつつ居り 山田 演
在りし日の夫の姿を思ひつつ二人で歩きし道の草刈る 阿部みさ子
猛暑日の午後に取り込みし干し物を夜にたためばいまだ熱もつ 鈴木 茂子

俳壇

山家 弘子 選

終戦の彼の日は疎開きめたる日 大庭美智子
美しき砂の沈黙蟻地獄 服部 忠孝
一刷毛の白き雲ゆくぶどう畑 岩松 隆志
ふたつみつ落ちては弾む栗の穂 遠藤 舞
露光る朝の鏡に髪を梳く 制野 リエ

大夕焼白石城の映えにけり 遠藤 忠臣
木屑の香りの木戸をくぐりけり 当内信夫
秋海棠の音響く朝の空 和田 游稀
鈴虫の聲に閉まれ寝まりけり 高子うぶん
秋の富士今や世界の富士の山 遠藤 松雄

評 一句目、彼の勝海舟は予言した。日清戦争で戦勝国になると「戦争に勝ったなどと威張っている」と後で大変な目にあつた。掲句のように地獄のような惨害を味わった。足尾鉾毒事件を聞いて「今日は文明だそつだ。文明の大仕掛けで山を掘りながら他の仕掛けはこれに伴わぬ。元が間違っている」と。原発事故がそつくり当てはまる洞察の不気味さ。二句目、蟻地獄の砂を美しいと見るまでに人間性を高められた忠孝さん。地獄も極楽の心境なのであろう。
三句目、まるでパリの田舎を想像させるお洒落な句。一刷毛の雲で詩情がでた。

柳壇

四電 英夫 選

辛口の友の苦言に救われる 草野 清
五輪より復興急げ安倍総理 別当内信夫
気がつけば早寝早起きいつの間に 菅野さよ
オカツバの昭和も平成二十五に 高子うぶん
後期高齢年中無休の独り者 阿部はぎの
深呼吸すれば緑の香りあり 遠藤 舞
この余生おまけの分と掌を合わせ 阿部みさ子
草陰に摘み残されしメタボナス 末吉アツ子
シニア展昔の細腕うなり出す 佐久間とみ子
達人と手抜き料理もほめられる 佐藤 啓子

文化の秋・スポーツの秋・食欲の秋と、この季節はとでも過ごしやす時期です。そして活動的にもなる季節ではないでしょうか。季節柄よろしく、スポーツや文化交流、祭りなどで、今年の秋も白石市を多くの方々を訪れてくれました。「交流拠点都市」を目指している本市としてはとてもうれしい限りです。
その一つに、今年も「鬼十郎まつり」が開催されました。日本全国から多くの白石市を愛する人や、白石城、武將を愛する人たちが、北緯38度の平和な城下町「白石」を訪ねに来てくれました。また、「戦国BASARA」の片倉十郎公、「ミッション・インポッシブル」シリーズのトム・クルーズ役などの吹き替えで数多くの作品に出演されている声優の森川智之さんは、平成23年から毎年ボランティアで来白され、祭りに賑わいを創出。復興を目指している本市としては、最高で最大の支援で、感謝の言葉しかありません。さらに今年の鬼十郎まつりには京都から「太郎坊天狗(烏天狗)」が来白。白石に新たな「一宝」を授けてくださいました。
その「一宝」とは、慶長20(1615)年5月、片倉十郎重綱公(後に重長と改名)が、大坂夏の陣で伊達軍が武功を上げ勝利した「立願成就」のお礼として、京都の北西北西に位置する愛宕山にあった白雲寺(現愛宕神社)に絵馬を奉納。その奉納された絵馬を、宮城県図書館に所蔵されていた下絵を元に忠実に2分の1に復元し、「困難に打ち勝つシンボル」として震災から復興するように、そして被災された方々の心の支えになることを

風間市長の風のささやき 「降臨」

願って、京都愛宕研究会の皆さんが、本市に寄贈していただきました。この絵馬には、緋色の僧衣と袈裟をまとい、地蔵の持ち物である錫杖を構えたカラス天狗(太郎坊天狗)が、愛宕の神の使いとされる疾走するイノシシにまたがった図が描かれています。
当日は八木透会長や鶴岡均事務局長はじめ会員の方々、復元を担当された和久田優子さんも来白。八木会長は、「戦に打ち勝った証の片倉絵馬を、いま、京都から東北へ。絵馬に描かれた愛宕太郎坊がみちのくに舞い降り、被災者の皆様をくじけずに、この困難に打ち勝つのだと励まし続け、少しでも心の支えになればと思います」と、心の温まる言葉をいただきました。本当にありがとうございました。
小十郎重綱公が奉納した実際の絵馬は、縦2m・横4mの巨大なもの。その原寸大のスクリーン絵馬は、白石城内に展示し、この復元絵馬は、歴史探訪ミュージアムに展示しています。ぜひ来白者だけではなく市民の皆さんにご覧いただきたいと思えます。なお、平成27年度は、片倉絵馬が奉納されて、400年の節目の年となるそうです。
震災以降、姉妹都市をはじめ日本全国の方々が、白石の復興や宮城の復興を願ってくださっています。こうした心に応えるよう、感謝の気持ちを持ち続け、困難に打ち勝ち成就させることをお誓いします。出合感謝！
「太郎坊天狗」は、とても気になる存在。ただイノシシに乗っていない、自ら歩いている太郎坊天狗が私は好きです。

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼いや卵などを販売しています(直売所により品揃えは異なります)。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。